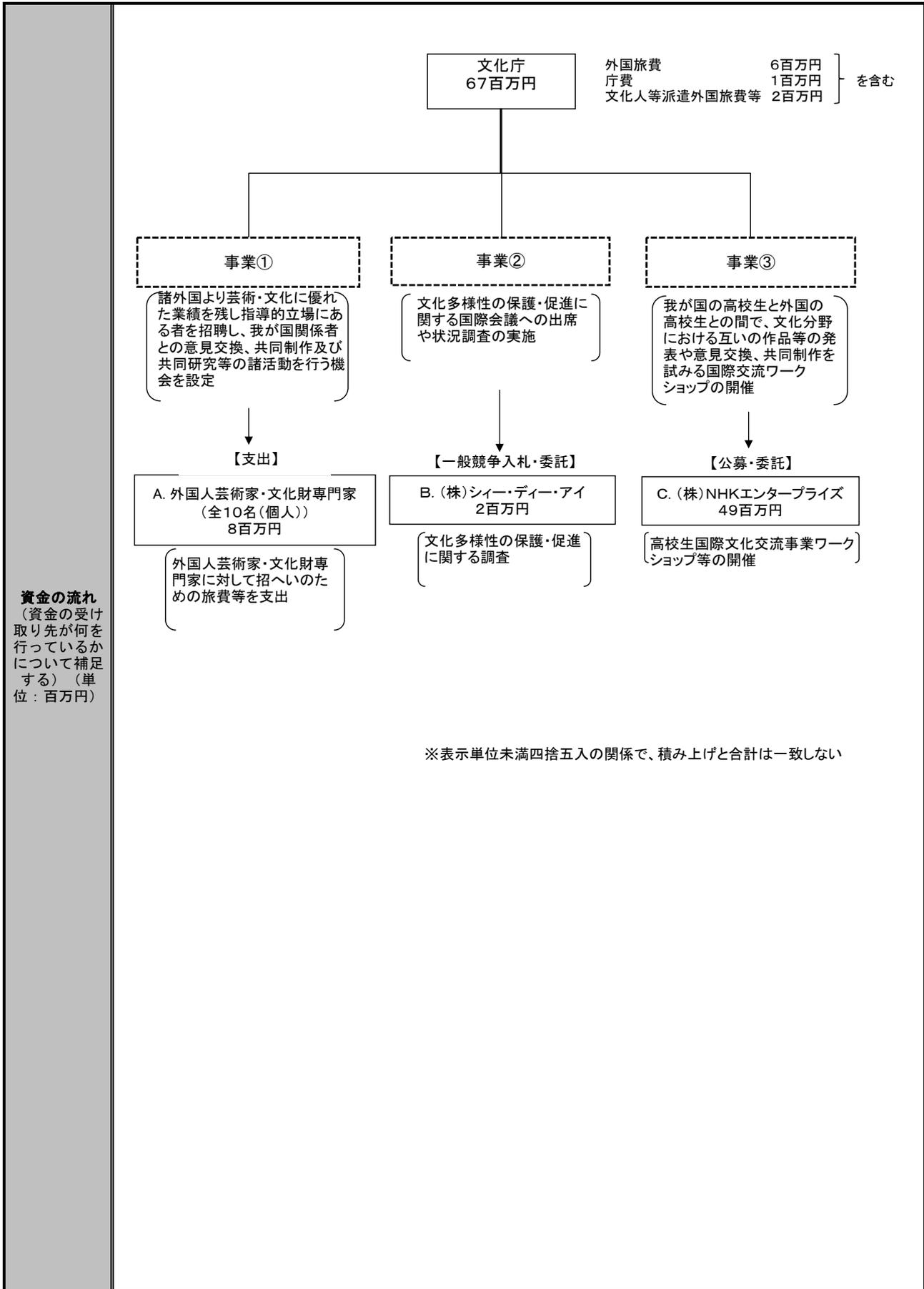


平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	国際文化ネットワークの構築及び文化多様性の保護・促進への対応		<b>担当部局庁</b>	文化庁		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成12年度		<b>担当課室</b>	国際課		<b>国際課長</b>	佐藤 透	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	XII-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	文化芸術振興基本法 第15条		<b>関係する計画、通知等</b>	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	我が国の文化振興と新しい文化の創造を目的として、諸外国の優れた芸術家、文化財専門家を招へいするとともに、文化交流に関する国際会議への参加及び開催等を実施する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<p>①各国の文化政策担当機関や国際機関等が開催する国際会議への文化庁国際交流担当官を派遣するほか、ハイレベルの行政官を交えた諸外国の文化政策担当機関等との意見交換・交流を実施。また、諸外国より芸術・文化に優れた業績を残し指導的立場にある者を招聘し、我が国関係者との意見交換、共同制作及び共同研究等の諸活動を行う機会を設定。</p> <p>②文化多様性の保護・促進に関する国際会議への出席や状況調査の実施。</p> <p>③我が国の高校生と外国の高校生等との間で、文化分野における互いの作品等の発表や意見交換、共同制作を試みる国際交流ワークショップの開催。</p> <p>※ 予算額・執行額のうち平成20年度、21年度分については、「文化芸術分野における海外との共同創作活動を通じた国際交流の推進」に係る経費を含む額である。</p>							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	△ 11	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	79	84	81	24	25	
	執行額	76	72	67				
	執行率(%)	96.2%	85.7%	82.7%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	国際的な文化政策行政官、文化人・芸術家のネットワーク構築による国際文化交流の推進や文化多様性の保護・促進に係る戦略的文化政策の構築については、中長期的な視点に立ち、国際的な動向も踏まえながら時勢にふさわしい戦略・方針で行う必要があることから、定量的な指標を設定することは困難である。		成果実績					
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①外国人芸術家・文化財専門家招へい者数 ②海外(6ヶ国)の文化振興施策に関する基礎調査件数 ③派遣日本人高校生数・派遣先都市数		活動実績 (当初見込み)	①人 ②件 ③人・回	①11 ②1 ③67・4	①12 ②1 ③72・4	①10 ②1 ③80・4  (①10) (②1) (③80・4)	—  ①(8)
<b>単位当たり コスト</b>	①0.76(百万円/人) ②1.6(百万円/件) ③0.6(百万円/人)		算出根拠	①平成22年度執行額:7.6百万円/外国人芸術家・文化財専門家招へい者数:10人 ②平成22年度執行額:1.6百万円/1件 ③平成22年度執行額:49百万円/派遣日本人高校生数:80人				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	8	9	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				
	外国人招へい旅費	6	6					
	文化人等派遣旅費	3	3					
	庁費等	3	3					
	招へい外国人滞在費	5	5					
計	24	25						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>①②国際的な文化政策行政官、文化人・芸術家のネットワーク構築による国際文化交流の推進や文化多様性の保護・促進に係る戦略的文化政策の構築については、引き続き、国としてが実施していく必要がある。なお、文化多様性の保護・促進に関する状況調査については、一定の目的を達成したことから、平成22年度限りで廃止とした。</p> <p>③事業実施にあたっては、企画競争による公募を実施することで競争性を確保し、また、事業実施においてもコスト削減に努めたことから、契約額以下にて目的に即した事業を実施することができた。ただ、本事業については、平成19年度に本事業を開始して以来、幅広い文化分野において高校生の派遣を実施し、一定の目的を達成したことから、本事業については平成22年度限りで廃止した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>1. 事業評価の観点：この事業は、国際文化交流を推進することを目的に、諸外国の優れた芸術家等の招へい及び国際会議へ参加・開催等を実施するものであり、長期継続事業の観点から検証を行った。（なお、「文化多様性の保護・促進に関する状況調査」「高校生国際文化交流事業」については、平成21年度レビューの指摘等を踏まえ、平成22年度をもって廃止）</p> <p>2. 所見：競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>契約に当たっては、事業の目的及びその成果目標について十分な説明を行い、公募期間を見直す等により、競争への参加を促し、競争性、公平性、透明性の確保を図る。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			



A.外国人芸術家・文化財専門家(個人A)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	交通・滞在費	1.2			
	※表示単位未満四捨五入の関係で、 積み上げと合計は一致しない				
計		1	計		0
B.(株)シー・ディー・アイ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査にかかる人件費	0.9			
諸謝金	調査員謝金	0.5			
その他	旅費、印刷費等	0.2			
	※表示単位未満四捨五入の関係で、 積み上げと合計は一致しない				
計		2	計		0
C.(株)NHKエンタープライズ			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	ワークショップディレクター人件費	19			
旅費	高校生派遣旅費等	17			
諸謝金	通訳謝金等	3			
借損料	移動用バス借上等	2			
会議費	会場費等	1			
その他	消耗品、保険料、印刷費等	2			
一般管理費		4			
	※表示単位未満四捨五入の関係で、 積み上げと合計は一致しない				
計		49	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外国人芸術家・文化財専門家(個人A)	講演、意見交換、視察等	1.2	—	—
2	外国人芸術家・文化財専門家(個人B)	講演、意見交換、視察等	1.1	—	—
3	外国人芸術家・文化財専門家(個人C)	講演、意見交換、視察等	0.9	—	—
4	外国人芸術家・文化財専門家(個人D)	講演、意見交換、視察等	0.8	—	—
5	外国人芸術家・文化財専門家(個人E)	講演、意見交換、視察等	0.8	—	—
6	外国人芸術家・文化財専門家(個人F)	講演、意見交換、視察等	0.8	—	—
7	外国人芸術家・文化財専門家(個人G)	講演、意見交換、視察等	0.7	—	—
8	外国人芸術家・文化財専門家(個人H)	講演、意見交換、視察等	0.6	—	—
9	外国人芸術家・文化財専門家(個人I)	講演、意見交換、視察等	0.4	—	—
10	外国人芸術家・文化財専門家(個人J)	講演、意見交換、視察等	0.2	—	—

※招へい旅費及び滞在費の支出であるため「入札者数」「落札率」は「—」としている

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シー・ディー・アイ	文化多様性の保護・促進に関する調査	2	1	91.5%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)NHKエンタープライズ	高校生国際文化交流事業ワークショップ等の開催	49	企画競争	100%